



KOGANEI

オートドレン

A D 3 0 0 , A D 6 0 0

取 扱 説 明 書





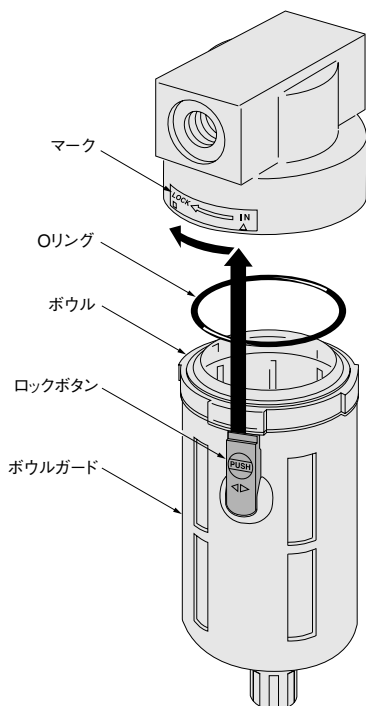
フィルタ

取付・配管

配管接続部を上、ドレン排出口を下にして、垂直に取り付けてください。

ボウル

ボウルはポリカーボネート製ですので、無理な力や衝撃が掛からないようにしてください。また、有機溶剤等の雰囲気中では使用できません。



●ボウルの取外し

赤色のロックボタンのPUSHを押しながら、ボウル・ボウルガードを右（マークの矢印と反対方向）に回転し、INに合わせると、ボウル・ボウルガードは本体から取り外せます。

●ボウルの取付け

1. ボウル・ボウルガード、それぞれの上縁の凸部を合わせて、ボウルをボウルガードにセットします。
2. ロックボタンをINに合わせて本体に挿入し、本体に押し付けるようにしながら、左（マークの矢印方向）にLOCKの位置まで回転すると、固定されます。



1. ボウルの着脱は、必ず空気源を抜いた状態で行なってください。
2. Oリングを本体にセットしてから、ボウル・ボウルガードを取り付けてください。
3. 150シリーズのボウルはねじ込み式です。着脱は手でボウルまたはボウルガードを回転させて行なってください。
4. ボウルを洗浄する場合は、中性洗剤を使用してください。

フィルタ

1. エアフィルタのドレン抜きは定期的に行なってください。
2. エアフィルタのエレメントを清掃する場合は、エレメントを取り出し、圧縮空気などを吹き付けてください。

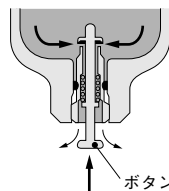
ドレンコック

●プッシュ式

150シリーズ

（エアフィルタ 標準装備
ルブリケータ 注文記号：-D）

ボタンを押している間、ドレン口が開き、ドレンが排出されます。

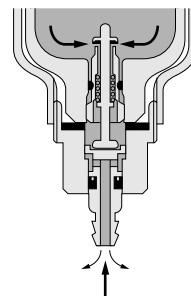


●プッシュ式継手付

150シリーズ

（エアフィルタ 注文記号：-BG-F1
ルブリケータ 注文記号：-BG-F2）

継手を上に押し上げている間、ドレン口が開き、ドレンが排出されます。

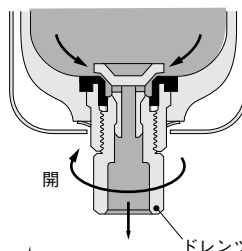


●スクリュー式

300～600シリーズ

（エアフィルタ 標準装備
ルブリケータ 注文記号：-D）

ドレンツマミを左に回すとドレン口が開き、ドレンが排出されます。

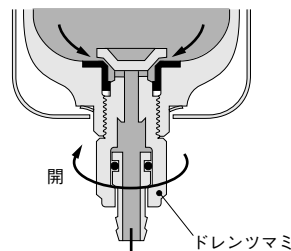


●スクリュー式継手付

300～600シリーズ

（エアフィルタ 注文記号：-F1
ルブリケータ 注文記号：-F2）

ドレンツマミを左に回すとドレン口が開き、ドレンが排出されます。



ドレンツマミは指先で操作するようにしてください。

●オートドレン式

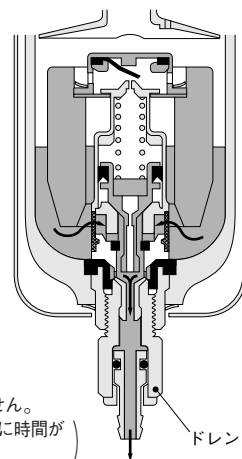
300～600シリーズ

（エアフィルタ 注文記号：-A）

一定量のドレンが溜まったり、ボウル内の圧力が0.02MPa以下になると自動排出されます。また、ドレンツマミを左に回せば、手動でも排出できます。



1. オートドレンは、供給圧力が0.15MPaに上昇するまでは、ドレン排出口より、エアが排気されますが異常ではありません。この時ドレンツマミを回転させてもエアは止まりません。（供給圧力が0.15MPaまで立ち上がるのに時間が掛かるような場合は、ご相談ください。）
2. ドレンツマミは指先で操作するようにしてください。
3. 継手部にチューブを配管するときは、内径6mmのナイロンチューブを使用してください。また、チューブは継手の直後で曲げないようにしてください。
4. 継手部は自由に旋回しますから、手動でドレンを排出するときでも、チューブを外す必要はありません。



一般注意事項

1. 配管する前に、必ず配管内のフラッシング（圧縮空気の吹き流し）を十分に行なってください。配管作業中に発生した切屑やシールテープ、錆などが混入すると、空気漏れなどの作動不良の原因となります。
2. 使用流体は清浄空気（5μm以下のフィルタを使用の事）を使用し、それ以外の流体の場合は、最寄りの弊社営業所へご相談ください。
3. 流体および雰囲気中に下記のような物質が含まれているときは、使用できません。
有機溶剤・リン酸エステル系作動油・亜硫酸ガス・塩素ガス・酸類・アルカリ類。
4. 水滴、油滴などがかかる場所や粉塵が多い場所で使用するときは、カバーなどで保護してください。

オートドレン

AD300・AD600

- ボウル内に溜まったドレンを自動排出。
- ボウル内の圧力がなくなるとドレンを自動排出。
- ドレンコックは継手付で、周囲を汚しません。
- 手動でもドレン排出できます。

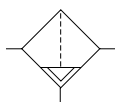


仕様

機器形式		オートドレン形式	備考
F.R.L.コンビネーション	C150	—	オートドレンなし
	C200	AD300	ディーラーオプション
	C300		
	C400	AD600	
	C600		
フィルタレギュレータ	FR150	—	オートドレンなし
	FR300	AD300	ディーラーオプション
	FR600	AD600	
エアフィルタ	F150	—	オートドレンなし
	F300	AD300	ディーラーオプション
	F600	AD600	
ミストフィルタ	MF300	AD300	メーカーオプション注
	MF400	AD600	ディーラーオプション
	MF600		
マイクロミストフィルタ	MMF150	AD300	メーカーオプション注
	MMF300	AD600	ディーラーオプション
	MMF400		
ドレンフィルタ	DF300	AD300	メーカーオプション注
	DF600	AD600	ディーラーオプション
	DF900		

注：オートドレンなしのものと、本体が異なりますので、オートドレンなしのものをボウルアセンブリの交換でオートドレン式とすることはできません。

表示記号



注文記号

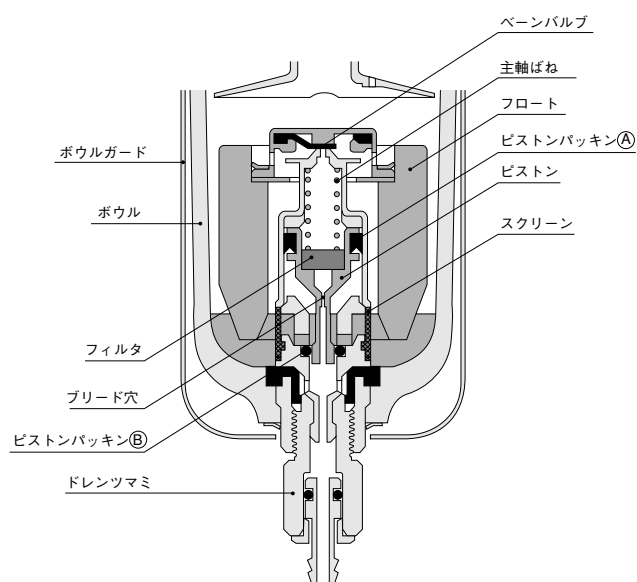
AD



ボディサイズ
300 — 300シリーズ用
600 — 600シリーズ用

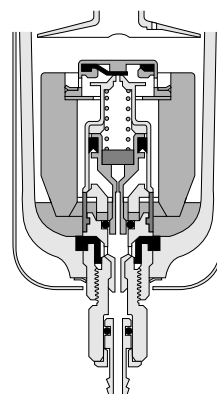
オートドレン式ドレンコックアセンブリ
(ボウル・ボウルガード付)

内部構造

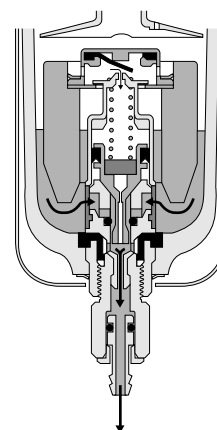


備考：供給圧力が0.15MPaに上昇するまでは、ドレン排出口より、エアが排気されます。この時ドレンツマミを回転させてもエアは止まりません。

ドレンが溜まっていく状態



ドレンが排出されていく状態



作動原理

ボウル内にドレンが溜まると、フロートが上がり、ベーンバルブを開きます。ピストン上部に導かれたエアにより、ピストンが押し下げられ、ピストン下部が開き、スクリーンを通ったドレンが排出されます。ドレンが排出されるにつれてフロートが下がり、ベーンバルブを閉じます。ピストン上部のエアはブリード穴より排気され、ピストンは下部からのエアにより押し上げられ、平常状態に戻ります。

なお、ボウル内の圧力がなくなると、主軸ばねがピストンを押し下げ、ドレンをすべて排出します。ドレン排出後は、ボウル内のエアも排気されます。